

団体名		事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	事業背景	事業概要	地域への貢献
1	茨城県 石岡市	体験観光資源（ガマランド）の再生による交流・宿泊・地域産業の複合拠点づくり	50,000  （国費：25,000 地方費：25,000）	140,909	常陽銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●石岡市は、筑波山系の美しい景観、歴史的文化財、地形を活かした多品目の農産物などの地域資源を有しており、観光業が盛んである。</li> <li>●主要な観光施設の1つである、筑波山名物のガマの油に由来する旧遊園地「ガマランド」が、コロナの影響等により令和3年に閉園し、市内を訪れる人は減少。</li> <li>●一方、筑波山観光客が年間200万人以上というポテンシャルを有するため、新たな観光拠点の整備により周遊観光を推進し、観光振興を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●旧遊園地を筑波山観光の拠点施設へとリニューアルし、飲食・宿泊・サウナ・物販等の複合型観光事業を行う。</li> <li>●地域で生産された多品目の農産物やブランド牛を使用した飲食メニューの提供、地形を活かした洞窟サウナ、大手アパレルブランドや筑波大学のデザイン系研究室と連携して地域資源を活かした商品開発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飲食・宿泊・サウナなどを組み合わせたサービスの提供により、観光滞在時間と観光消費の拡大、交流人口の増加</li> <li>●地域に親しまれた遊休資産の活用・再生、農産物などの地域資源の活用による地域経済活性化</li> </ul>
2	徳島県 神山町	神山小麦を核とした地域循環型6次産業化モデル構築事業	25,000  （国費：18,750 地方費：6,250）	33,000	阿波銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●神山町では、山間地の地形を活かした農業が古くから営まれてきたが、担い手不足、遊休農地の増加と棚田景観の喪失といった課題がある。</li> <li>●町の在来種「神山小麦」は、地域ブランド形成による農業振興や、観光資源としての活用が期待される。しかし、県内には小ロット対応の製粉所がなく、県外で製粉しているため、価格競争力がなく、産業化がなかなか進まない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古民家を改修して、里山の風景と調和した小ロット対応の製粉所・加工所を整備し、栽培から製粉・加工製造までの6次産業化を行う。</li> <li>●70年以上の歴史がある神山小麦を栽培・使用し、パンやクッキーなどの加工品を製造・販売するとともに、飲食店向けの業務用製品も開発・提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製粉コストの低減と販路確保により生産意欲を向上。神山小麦の生産を拡大し、地域資源を活かした新たな地場産業を創出。</li> <li>●小麦の栽培地として遊休農地を活用し、棚田景観を保全。</li> <li>●新規事業により雇用を生み出すほか、地域の高校と連携して学生が栽培から商品化までを学ぶ機会を提供し、地域を担う人材を育成。</li> </ul>
3	熊本県 津奈木町	観光客と地元民の社交場の創造による地域活性化事業	25,000  （国費：18,750 地方費：6,250）	25,000	熊本中央信用金庫 日本政策金融公庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>●津奈木町には宿泊施設がなく、日帰り観光客しか受け入れできないことが長年の課題であったが、令和7年10月、町内初の温泉宿泊施設がオープンした。</li> <li>●この宿泊施設を核として、宿泊観光客を取り込み、観光振興を図るためには、ナイトエコノミー対策として、夜間交流の場や地域事業者の連携の場の創出が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドライブイン跡地の建物やBAR・交流拠点へと再生し、飲食・貸店舗事業を行う。</li> <li>●BARでは、地元食材を活用した料理や地酒、町の特産品（柑橘類、熱帯果樹）を活用したモクテル等を提供。</li> <li>●店舗の貸しスペースは、チャレンジショップとして運用して起業や新事業創出を促進するほか、地域おこし協力隊による地域づくりイベントやアートイベントなどを開催して、新たな挑戦・連携を生み出すとともに交流人口の拡大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宿泊観光客を取り込み、観光消費額の増が期待されるとともに、地元食材や町の特産品の活用により、地域経済循環を創出。</li> <li>●新たな挑戦や交流・連携の場の提供により、起業・新事業の創出を促す。</li> <li>●地域内外の交流の促進により、交流人口の拡大、地域活性化が期待される。</li> </ul>
4	鹿児島県 鹿屋市	アグリツーリズムで地域経済活性化 × 地域オリジナルの高収益作物のブランディング事業	20,000  （国費：13,333 地方費：6,667）	23,000	鹿児島銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鹿屋市では、温暖な気候や豊かな自然環境を生かして多種多様な農産物が生産されているが、農業従事者数は年々減少している。</li> <li>●農業を観光資源として活用し、農業・観光振興を図るため、地域資源である農業や食を活用したツーリズムに取り組むこととしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●胡蝶蘭の栽培ハウスを改修して体験型観光農園へとリニューアルし、地元特産品等を活かした農業・観光事業を行う。</li> <li>●鹿児島県が開発したいちご、県内1位の生産量を誇る落花生、さつまいもなどの栽培・販売、収穫体験サービスを提供。</li> <li>●観光客に加えて農業経営を学ぶ企業研修を誘致するとともに、酒造会社が行う夜の焼酎蔵見学等とのコラボツアーも企画し、地域全体でアグリツーリズムを推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬～春はいちご、夏～秋は落花生やさつまいも等を栽培し、地域資源を活かした通年のアグリツーリズムを推進。</li> <li>●農業振興と観光振興と併せて、交流人口の拡大を図る。</li> <li>●収穫やパッキング作業など、福祉事業所との農福連携により障がい者の就労や交流の場を提供。</li> </ul>